

子ども司書新聞

第15号

7月1日発行

レファレンスを知るともっともっと知りたくなるのです

7月1日に第2期五所川原市子ども司書養成講座の第3回の講義が行われました。今回のテーマは「レファレンスってなあに？」です。レファレンスという聞き慣れない言葉の意味とそのかしこい使い方を学びました。次に「自分の生まれた日のことを調べてまとめる」ことをしながら、レファレンスってこういうことなのかあと



理解していききました。

調べたいこととして、誕生日の曜日、天気、事件、誕生花、同じ誕生日の有名人などがあがり、それらの探し方、調べ方、どんな資料があるか、デジタル資料もあること、コピーもできるなど、図書館の機能・サービスを体験しながら、調べた先にある知ることの楽しさを感じたようでした。

次回は、みんな楽しみにしている「カウンターのお仕事」です。



第1期子ども司書が カウンターのお仕事をします

夏休み期間中、第1期五所川原市子ども司書の木村美幸さんが一般室でカウンターのお仕事をします。久しぶりの図書館でのお仕事ですね。元気で笑顔で来てくれることを楽しみにしています。

第4回

7月22日（土）

カウンターのお仕事

今日はなんの日？

明治31年7月1日、五所川原村が町制施行し五所川原町となりました。その後昭和29年10月1日、一町六カ村が合併して五所川原市が誕生、平成17年3月28日、三市町村が合併して今の五所川原市になりました。（「五所川原市の地名」より）

<編集後記>

自分の生まれた日のことって意外と知らないものです。でも知りたいものですよね。調べだすと面白かったのでは？何かをもっと知りたくなったらレファレンスお願いしますって声かけてね。

担当：須藤